



はとの子だより

No. 1 1 令和7年2月27日(木)発行

学校教育目標 自律 のびのび きびきび わくわく

令和6年度

「学校の取組に関するアンケート」のまとめ

早春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃から本校の教育活動にご理解とご協力いただき、深く感謝申し上げます。

さて、冬季休業前にお願ひしました「学校の取組に関するアンケート」の結果がまとまりましたのでご報告いたします。ご多用のところ、たくさんの保護者の皆様からご回答いただきました。ご協力ありがとうございました。

調査結果につきましては、教職員による学校評価(自己評価)の結果、児童アンケートの結果等を踏まえ、成果と課題について全職員で話し合い、次年度の教育活動に生かせるよう改善策等を検討しました。また、学校評議員の方々からも調査結果をもとに、ご助言をいただきました。

家庭と学校の絆を一層確かなものにししながら、子どもたちの健やかな成長のために、皆の力を結集して教育活動に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

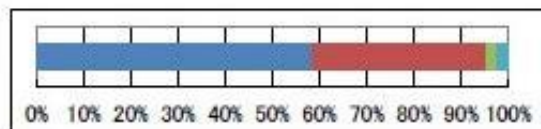
回答数 455世帯 (回収率 98.6%)

評価尺度

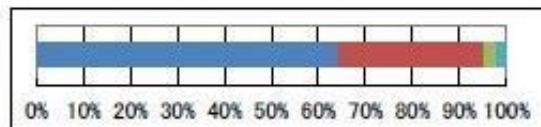
A	B	C	D	
そう思う	どちらかといえばそう思う	あまり思わない	思わない	無答

I 学校全体の取組について「学校は・・・」

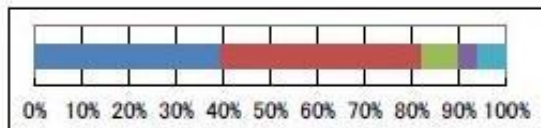
- 1 学校教育目標「自律」や育てたい資質・能力、目指す子ども像に向かい、様々な教育活動に積極的に取り組んでいる。



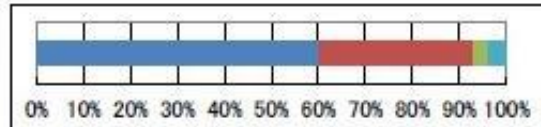
- 2 学校行事(はとの子学習発表会、修学旅行、校外学習等)をはじめ、様々な活動を通して、子どもたちが意欲的に活動できるよう指導・支援している。



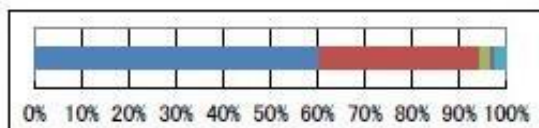
- 3 子どもたちの学校生活の様子をしっかりと見守り、いじめのない学校にしようと努力している。



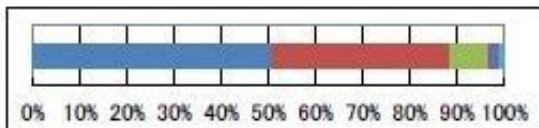
- 4 附属四校園の連携・交流活動(幼稚園とのなかよし活動、中学校との交流学習への参加、特別支援学校とのよつば学習<障害理解教育>)を積極的に行い、附属学校全体で教育の充実に取り組んでいる。



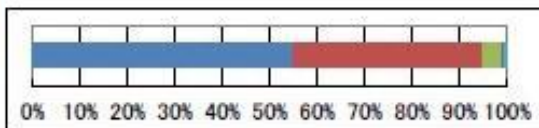
- 5 避難訓練、防犯訓練、感染防止対策、緊急メールやホームページ等を整えるなど、子どもの安全を守るために様々な取組を行っている。



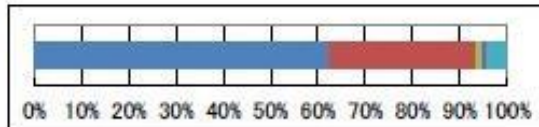
- 6 夏季休業中の「保護者面談」をはじめ、子どものことでいつでも先生方と相談できる体制が整っている。



- 7 校報「はとの子だより」や「のびのび通信」、学年通信、保健だより等の各種通信やホームページやオンライン等を通して、学校や子どもたちの活動の様子を伝えている。



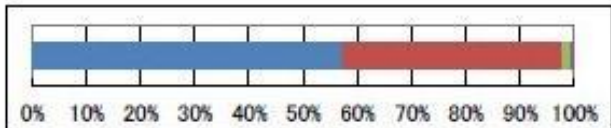
- 8 公開研究協議会やオープン研修会等を通し、学校の取組を広く発信する努力をしている。



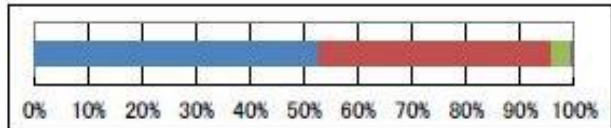
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・A B合わせた評価は、8項目とも昨年度並みの数値でした。 ・昨年度A評価について上昇が見られた、項目2「学校行事における指導・支援」（↑12ポイント）、項目6「相談体制」（↑5ポイント）、項目7「学校の取組の発信」（↑18ポイント）は、どれも同程度の数値で維持されていました。 ・項目3「いじめのない学校づくりに向けた努力」は、依然として回復の傾向が見られませんでした。
具体的な考察と今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・項目2「学校行事における指導・支援」では、創立150周年を記念する諸行事で活躍する子どもたちの姿が、多くの保護者の皆様に周知されるよう努めてきました。特にホームページには特集ページを組んだり、大学の広報誌「アプリーレ」でも子どもたちの声を取り上げたりするなど、その取組は県内外から大きな反響がありました。 ・一方で、項目7「学校の取組の発信」は昨年度よりもA評価の数値が落ちました。記述式アンケートに一部、ご自分のお子さんについて取り上げられていなければ関心をお持ちいただけない旨の記述がありました。昨年度も、このような声があったことから、学年報ではできるだけ子どもたちの具体的な姿を紹介するよう努めてきました。今後も一層このような取組に力を入れていきたいと考えています。 ・項目3「いじめのない学校づくりに向けた努力」、項目6「保護者との相談体制」については、肯定的な評価が依然として90%を越えていないことを真摯に受け止めて、各家庭との連絡・相談を密にするよう教職員も努力を重ねていきます。今年度は、学校生活アンケートの実施時に担任以外の教員が配付・収集を行ったり、教員による対応が必要か否かの意思表示を記入する欄を設けたりするなど、実施中・実施後の対応に対する子どもたちの不安感を払拭するよう改良しています。4年生以上では、学年内の授業交換も活発にすることで、学年体制で子どもたちの困り感や子ども同士の関係把握などを複数の教職員がきめ細かに見取り、少しでも気になることがあれば情報交換と相談を重ねてきました。スクールカウンセラーや四校園の相談員とも連携を図りながら、子どもたちの気持ちや保護者の皆様の気持ちに寄り添った対応となるよう、一層努力していきます。来年度以降は、全学年の授業に保護者の方々を巻き込んだ取組を位置付けた教育課程の編成を試みる予定です。このことを通して、保護者の皆様が学校の取組や学級の実態をより具体的に把握していただけるようになることを期待しています。 ・項目5「安全を守る取組」については、昨年度、学校の防災対応について反省すべき点があったことから、豪雨・暴風雪等の注意報・警報発令には特に意を用いて早めの連絡を心掛けてきました。クマの出没情報にもアンテナを高くし、目撃例があった地域の子どもの安全や保護者の方々には、注意喚起をしたり、場合によっては自家用車での送迎を許可したりするなどの対応をしてきました。今後もあらゆる状況を想定した対応を心掛けていきます。

II 保護者の意識について 「自分は……」

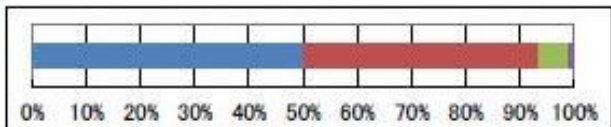
- 1 学校の教育方針や活動について、関心をもっている。



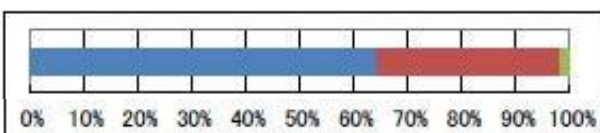
- 2 学校からのお便りや連絡プリント、緊急メールをよく読んでいる。



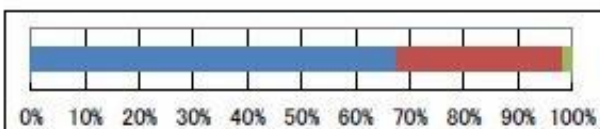
- 3 PTA活動（参観日、懇談会、事業部の行事等）に進んで参加し、協力している。



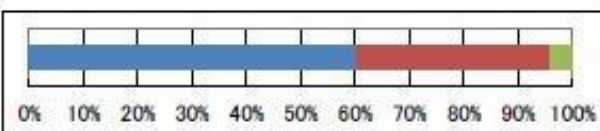
- 4 家庭での規則正しい生活が、子どもの学校生活を支えているということを意識して、子どもにかかわっている。



- 5 学校の登下校の約束（徒歩または公共の交通手段で）をきちんと守らせている。



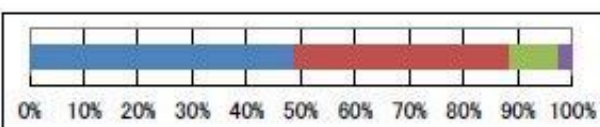
- 6 家庭で、子どもと学校のこと（学習、出来事、友達、先生等）をよく話題にして会話している。



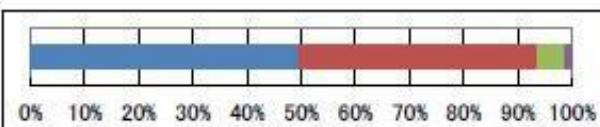
概要	<p>項目2「学校からの連絡への対応」のA評価が8ポイント近く低下しました。一方で、項目6「学校を話題にした家庭での会話」のA評価は4ポイント近く上昇しました。</p>
具体的な考察と今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・項目2「学校からの連絡への対応」については、メールアプリの活用が定着してきたことから、慣れが生じている可能性もあります。緊急性の高いものと、それ以外のものが日に何通も届くと、つい確認を徹底できなくなってしまうことも考えられます。紙の配付とのバランスを吟味するなど、学校からの連絡がしっかりと伝わるような配慮について検討していきます。 ・項目3「PTA活動への協力」については、A評価が他の項目に比べて高くはありませんが、登下校での安全指導や学校行事等での駐車場の案内や広報活動など、様々な面でご協力いただいていることに感謝申し上げます。特に今年度、創立150周年に際して祝賀行事や事業での多大なご協力には、心から御礼申し上げます。 ・項目5「登下校の約束」については、概ね良好な結果ですが、一部の方々による送迎ルールの違反や主に下校中の危険な行為については、近隣住民からの苦情が少なくありません。帰宅途中にスマートフォンを取り出して使用しているとの指摘もいただいています。子どもたちの安全な登下校への配慮からスマートフォンの携帯を許可しているご家庭におかれましては、マナーとルールの遵守について、改めてご指導ください。 ・項目6「学校を話題にした家庭での会話」については、ご家庭の関心の高さがうかがえる集計結果でした。気になることがありましたら、いつでもご相談ください。お電話での対応に関しては、教職員の業務を円滑に遂行するために、16時30分以降は緊急の場合を除いて対応いたしかねます。子どもの生命に関わるような緊急事案の場合は、時間を問わず、教頭が所持している緊急携帯電話の番号をお確かめの上ご連絡ください。それ以外の場合は、アポイントメントを取った上で、日中に直接御来校くださるか、16時30分前にお電話くださるようお願いいたします。子どもたちの学校での様子をご覧になりたい場合は、基本的にいつでもいらして構いませんので、事前にご連絡の上、遠慮なく御来校ください。

Ⅲ 教職員の取組について 「先生は……」

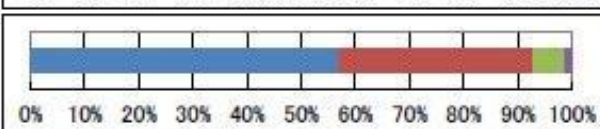
- 1 子どもの悩みやトラブルに対して親身になって対応している。



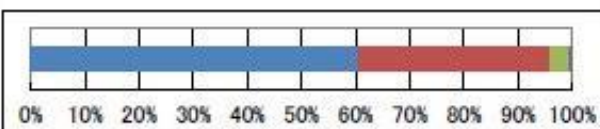
- 2 子どもがきまりを意識して生活できるように、しっかり指導している。



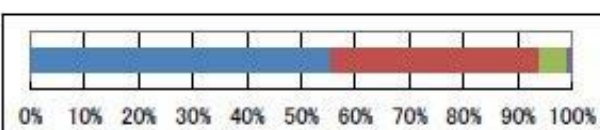
- 3 子どものよさ（能力や適性）を理解しようと努力している。



- 4 子どもたちの体験を重視したり、自分でよく考えられるようにしたりするなど、授業を工夫している。



- 5 分かりやすく、学びたい授業を目指し、努力している。



概要	<p>項目1「悩みやトラブルへの親身な対応」については、C評価が増加傾向にあります。項目2「きまりを守る指導」、項目5「分かりやすい授業」についても、A評価が10ポイント前後低下しています。</p>
具体的な考察と今後の対応	<p>・項目1「悩みやトラブルへの親身な対応」については、これまでもお伝えしてきたとおり、「お互いに謝って終わり」というような表面的な解決を目指すのではなく、その背景や要因について広く深く情報収集に当た</p>

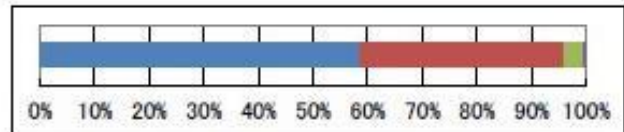
具体的な考察と今後の対応

るよう心掛けてきました。子どもたちが精神的に健全な成長を遂げることをねらいとして、教職員は子どもたちの悩みやトラブルの解決に向けてともに考え、子どもたちが適切に判断・行動できるようになるまで励ましや助言を行うよう努めています。トラブルについても、どちらに非があるかを断ずることよりも、再発防止に向けて何ができるかという考え方で指導を重ねてきました。もちろん、教職員だけで十分に解決されていないことがあることは承知しており、子どもたちや保護者の皆様により一層寄り添った指導ができるよう改善を図っていますが、ともに子どもを教え導く協力者として、保護者の皆様のご理解とご協力が、これまで以上に欠かせません。どうぞよろしくお願い致します。

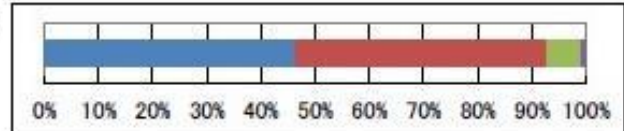
・項目2「きまりを守る指導」については、教師側から一方的に示したルールが厳格化するあまり、子ども同士が互いの行動の是非を巡って対立し、トラブルが激化することを防ぐ観点から、子どもと教師がともに考え話し合いながら確認していくことを重視しています。「こうあるべき」という思い込みから対立が起こることは少なからずありますが、その都度担任を交えた話し合いを通して解決に向けた取組を進めているところです。ここ数年は、最高学年である6年生が、率先して学校のルールやマナーを見直そうとする機運も高まっていることは、学校報でもお知らせしているとおりです。こうした自治的な取組を、ご家庭でも励まし認めてくださるようお願い致します。

IV 子どもたちの様子について 「うちの子どもは……」

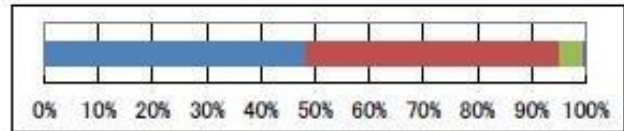
1 学校生活を楽しんでいる。



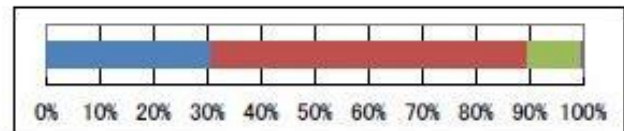
2 努力したことや工夫したことを周囲の人たちに認めてもらえるようにしている。



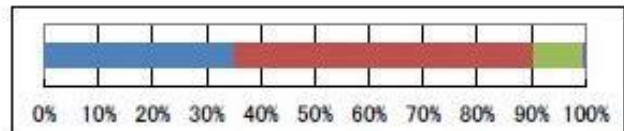
3 学校の約束やきまりの大切さを理解し、守っている。



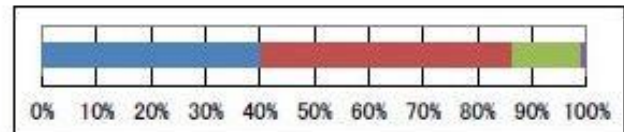
4 あいさつや礼儀が身に付いている。



5 学校で学習したことを理解している。



6 家族の一員として、お手伝いをしている。



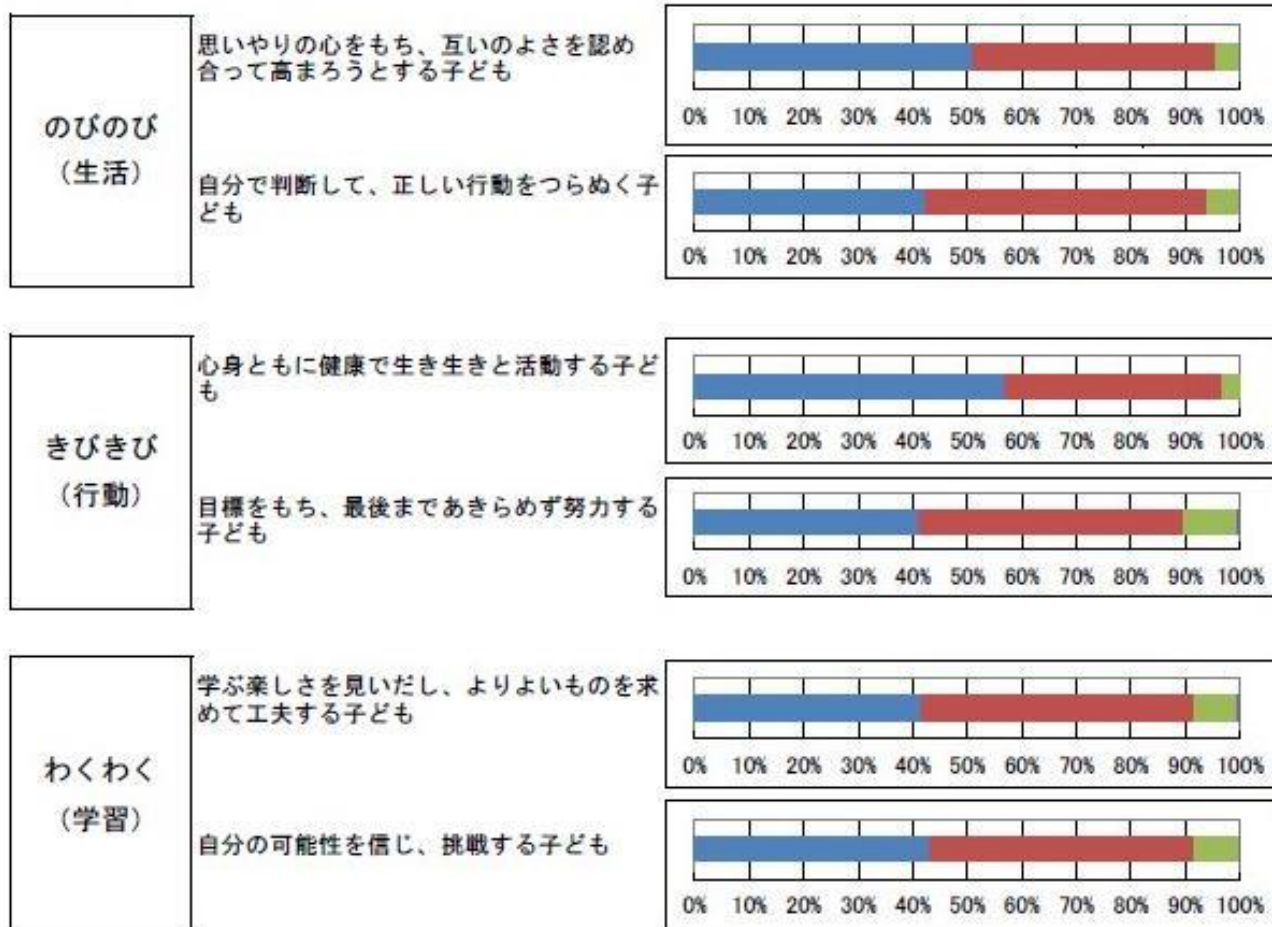
概要

項目1「学校生活を楽しんでいる」、項目2「努力や工夫の承認」については、肯定的な回答の割合がわずかですが上昇しました。
項目3「約束やきまりの遵守」と項目5「学習内容の理解」は、A評価が8ポイント前後低下しました。
項目6「お手伝い」は、13ポイント以上低下しました。

具体的な考察と今後の対応

・項目2「努力や工夫の承認」については、昨年度もお伝えしたとおり、「子どもを見取る解像度を上げる」ことを合言葉にした取組を継続し、子どもたち一人一人の成長の姿を具体的なエピソードで語り合い、記録として残す研修を進めています。日常的にも学年部を中心として情報交換する教職員の姿は習慣化しています。その成果が、全ての子どもたちに還元されるよう、より一層努力を重ねていきます。
・項目5「学習内容の理解」については、肯定的な評価が全体的に低下していることを重く受け止めています。国や県の学習状況調査をひもとくと、多くの項目で県平均を上回る結果となっていますが、学習意欲が低下傾向にあることが課題となっています。今年度は、各教科で、「分かる・できる」と同時に、子どもの知的な好奇心を高め、意欲が持続するような教材開発が活性化しています。今後もこうした取組を継続していきます。

「目指す子ども像」に向かって



どの項目においても良好な結果でした。「目標を持ち、最後まであきらめず努力する子ども」については、肯定的な評価が90%を割りましたが、A評価自体は上昇していました。学年便りでは、できるだけ具体的な子どもの成長をお伝えするよう心掛けた学年が増えており、学年・学級懇談の際は、学校経営の重点としている4項目に即して子どもたちの具体的な姿をお伝えしてきました。こうした取組を一層促進し、子どもたちの姿を通して教育活動の質の向上につながる連携を図っていききたいと考えています。

保護者自由記述について

自由記述欄へのご記入ありがとうございました。お名前を記入していただいたことで個別に対応することができたご意見もありました。学校全体にかかわるご意見については、管理職や担当部署で検討し、学校運営等の改善に役立てさせていただきます。また、子どもの指導にかかわる内容につきましては教職員全員で共通理解し、共通実践していきます。PTAに関することは、PTA会長にもお伝えしております。ご協力ありがとうございました。

<自由記述欄からの抜粋>

学習発表会で、子どもの姿が見えず残念だった。座席数や配置の工夫が必要ではないか。会場も公共の施設を利用することも検討してはどうか。

会場設営が原因でご不便をお掛けしたことをお詫びします。昨年度、せっかくの6年生の発表で、参観者の大半がお帰りになってしまい、できるだけ最後までたくさんの方にご覧いただきたいと考えて全校合唱を最後にしたところ、今度は思いの外たくさんの方々到最后までご覧いただくことができたのはよかったのですが、想定を遥かに上回る参観者数に対応しきれませんでした。いただいたご意見をもとに、来年度に向けて改善策を検討します。

クラスの中での暴力事案やトラブルについて、放置されている印象がある。クラスの中の様子がなかなかわからないことも不安を感じる。担任によって認識や対応に温度差があるように感じることもある。いじめについて大人も子どもも一緒に考えて考える場をつくる必要を感じた。

ご心配をお掛けしておりますこととお詫びします。コロナ禍以降、言葉によるコミュニケーションが途絶えたことが、意に沿わないことがあったときつい手が出てしまうケースの増加につながっているように感じています。教職員全体で、言葉による暴力も含めて暴力行為に対しては毅然として対処することを改めて再確認しています。改善されない場合は、保護者に連絡し、いったんご帰宅の上、ご家庭で指導していただくなどの対応も図っております。一方で、子ども同士の揉め事が、子どもの成長を促す場合があることもご理解ください。

い。揉め事の9割以上が互いの主張のぶつかり合いで、折り合いの付け方を冷静に話し合える指導が可能で
す。担任は、揉め事が起きた際に「いじめの可能性」は当然疑いながら対応しますが、反面、子どもたちの成
長に資する揉め事であるかどうか慎重に吟味し、多面的に考察しながら対応しています。保護者の皆様から
見ればスピード感に欠ける対応に見えたり、一方に肩入れしていたりするように見えたりするのは、そのよう
な姿勢で向き合っている可能性もありますので、疑問に思われたときはいつでもお問い合わせください。もち
ろん、担任からも対応について明確な説明ができるよう心掛けていきます。教育の現場では、学校であれご家
庭であれ、長期的な視点で子どもと教師、子ども同士の信頼関係を築くことが必要な場面が少なからずありま
す。現に、2学期に荒れが懸念された学級のいくつかは、現在非常に落ち着いて学校生活を送っています。特
に低学年の場合は、異なる保育環境・保育歴の子どもたちが混在する割合が高まったこともあいまって、学校
生活への順応が遅れ、不安定になったり決まりごとが徹底せずに揉めたりする場面も増えました。当然、保護
者の皆様の認識も多様化していることが、不安を募らせる原因になっていることも感じています。来年度、入
学時の子どもたちの安心感と、保護者同士の共通理解を高めることを目的に、スタートカリキュラムの大改訂
を行い、指導体制や教育課程に様々な工夫をする予定です。他の学年においても、保護者の方々に授業に参加
いただく機会を計画的に設け、大人と子どもがともに問題解決に当たる学びの場を増やしていくことにして
おります。それ以外の場面でも、子どもの話だけではよくわからず、クラスの状況が不透明な部分は当然ありま
すから、是非お時間をつくって学校へ足を運び、少しでも担任や管理職とコミュニケーションをとっていただ
ければと思います。基本的に、事前にご一報いただき保護者証さえご持参くださっていただければ、いつでもご参観
いただけるようにしております。お待ちしております。

登下校のルールが徹底されていない。通学路以外の道を通っている子どもや、一度帰宅せずに遊びに行っている
子どもがいる。帰宅時間の認識が甘いのではないか。

秋田市全域から通ってきているという特殊な事情ゆえ、登下校時の安全とルールの遵守については、学校でも
幾度となく集会を開くなどして具体的な指導を重ねております。ただ、それでも近隣住民の方々からは、「自
家用車を路肩に止めて子どもを乗り降りさせている家庭が後を絶たない」「雪玉や石を投げたり、冬に路肩の
雪山に乗って遊んだりして危険きわまりない」などの通報をいただくことが少なくありません。学校周辺
であれば常に教員が巡回して指導していますが、それ以外の場所においてもルールやマナーを守るには、ご家
庭の協力が欠かせません。入学時に学校に約束したことを振り返る機会を設けていただければ幸いです。

学校へ持参できる冬の遊び物について、委員会で決まったことが十分に周知されず、学級によって認識の違い
がある。決まりごとについて学級のルールが優先されるのもおかしいのではないか。

ルールの決定と遵守については、別の欄にも書いたとおり、まずは子どもと教師が話し合っ
て決めることを前提としています。子どもたちの揉め事のいくつかは、教師が一方的に課したルールを守れな
かった子どもに対する他の子どもたちの非難に端を発していることが少なくないためです。学校としてどこ
を基準とするかについては、毎年、年度初めに確認していますが、年度途中に発生した事案について、十分
に共通理解を図れていないこともあったようです。この点については真摯に反省し、改善のための協議を
進めます。ただ、子どもたちの遊びに関するルールについては、それぞれの学級の文化を尊重する側面も
含んでいます。一律にすることで子どもの創造性を損なうことにならないか、慎重に判断しながら確認
していきたいと考えます。

天候悪化の懸念がある日などについて、学校の対応の迅速さは大変素晴らしい。

昨年度、いくつかご指摘をいただいたミスを改善するよう努めております。気になることがありましたら、
いつでもご指摘いただければ改善に向けて努力します。ありがとうございます。

先生方が毎度、時間を使って子どもたちに向き合ってくさっているのが伝わってきて感謝している。学校で
ご指導いただいた後の電話や子どもの相談に乗ってくださったことなども知って心が温まる思いだった。研究
校、大規模校で大変多忙であるにも関わらず、子どもたちのことを大事に思ってくさることに感謝して
いる。

ありがとうございます。ありがたいお言葉に気を緩めることなく、今後も精進し続けていきます。

将来の礎を築く ～学長講話～

2月中旬に、今年度から秋田大学長に就任された南谷佳弘学長が来校され、もうすぐ巣立ちの日を迎える6年生に向けて講話をしてくださいました。

講話の内容は、日本人の半分が向き合うことになる「がん」についてです。生成AIで作った表紙から始まるスライドに、多くの専門用語が並びましたが、6年生にも分かる易しい表現で説明してくださいました。DNAとの関連など最新の知見も交えて、子どもたちがどんどん引き込まれる、あっという間の45分間でした。

